

第8次鳥取市総合計画「基本構想」(案)の中に位置づけられたビジョン

夢があり誇りのもてる  
20万都市づくりビジョン

広域交流観光の展開

情報先進都市の実現

環境先進都市の実現

人材誘致・定住対策の促進

子育て・教育先進都市の実現

生涯健康都市の実現

人権尊重都市の実現

地域文化の振興

新たな農林水産業の振興

地域に根ざした商工業の振興

防災・防犯対策の強化



新しいまちづくりが  
4月からスタート

鳥取市総合企画委員会委員長

道上正規さん / みちうえまさのり  
(勲)とっとり政策総合研究センター理事長

12月末、市民のみなさんと一体となって作った「第8次鳥取市総合計画」を竹内市長に答申しました。これは、20万都市となって新しい鳥取市の姿を描いた最初の計画で、数多くの市民の参画を得て、市民との協働により1年の歳月を費やして作り上げてきたものです。

平成18年度から10年先を展望して、夢があり誇りのもてる20万都市づくりを進めるため、「21世紀の発展を支える人づくり」、「高速道路を活かしたまちづくり」、「合併を活かしたまちづくり」の3つの観点から、具体的な11のテーマを定め、数値目標を掲げてその実現に万全を期すよう工夫しています。

鳥取市の財政は厳しい状況ではありますが、「選択と集中」の考えのもとで、人づくりとコミュニティを中心とした地域づくり、安心でいきいきとした暮らしづくり、交流と文化によるまちづくり、質の高い市役所づくりなど、夢があり誇りのもてるまちづくりの実現のため、みなさんの一人ひとりのお力の結集を切に望みます。

## 総合計画(案)について答申



本市の総合計画(案)については、市長の諮問を受けていた総合企画委員会で、昨年1月から計画内容の審議を行ってきました。この委員会は、鳥取大学の前学長である道上正規さんを委員長に、福祉、人権、農業、商工業分野の代表者や学識経験者など、23人の委員で構成されています。

委員会では、本市を取り巻く状況や、将来像、まちづくりの原則となる考え方のほか、市民ワーキンググループで協議、検討してきた内容について審議が行われ、12月26日に市長に対して、市民政策コメントなどの意見を反映した基本構想(案)と基本計画(案)の答申がなされました。